

# 平成30年度 市民病院事務局長「政策宣言」中間報告

市民病院事務局長 板山 浩一

## ○ 平成30年度重要事業

事業名	地域医療の確保と健全な病院運営の推進
目標	地域医療を担う病院として、市民の健康と命を守るための救急医療、急性期医療に加え、リハビリなどの回復期医療から在宅医療まで、安全・安心な医療の提供に努めます。また、引き続き経営の効率化を図りながら、持続可能な病院運営に努めます。
進捗状況	急性期病棟や在宅等からの地域包括ケア病棟への患者受入れ、また地域包括ケア病棟から在宅等への復帰支援など、安全・安心な医療の提供に努めました。
今後の対応	経営コンサルタントによる支援を受け、地域包括ケア病棟の効率的な運用をはじめとする経営健全化に努めるとともに、地域の医療機関や施設等との連携を強化します。

事業名	地域包括ケア病棟の効率的な運用
目標	地域包括ケア病棟を対象とした診療報酬改定への対応を的確に行うとともに、県内屈指の規模を持つ地域包括ケア病棟の魅力を高めるため、デイルームや廊下の改修を行い、患者さんが安心して在宅復帰できる環境を整備し、効率的な運用につなげます。
進捗状況	地域包括ケア病棟に関する新たな診療報酬上の届出を行うとともに、ケア病棟4階の廊下を明るい色調に改修するなど、入院環境の整備に努めました。
今後の対応	地域包括ケア病棟4階のデイルームについては、10月末までに改修を行い、入院患者の皆さんが安心して在宅復帰できる環境を整えます。

事業名	地域連携と広報活動の強化
目標	開業医や他病院との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。また、病院広報誌を全戸配布するとともに、スマホ対応も可能となったホームページの活用や、市民講座の開催、出前講座の実施など、病院の積極的な広報活動を展開します。
進捗状況	過去3回ラポールで開催していた市民公開講座を、今回初めて高周波文化ホールで7月に開催しました。また、病院広報紙の全戸配布や出前講座の実施など、活発に広報活動を展開しました。
今後の対応	市内開業医の方々との連携を強化するため「射水市民病院地域連携懇談会」を年明けに開催し、地元の地域医療発展を目指していきます。